

令和 8 年度

一般選抜（I 期）問題

試験日 2月1日

日本史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔1〕次の文章は、2025年に起きた出来事を振り返った大学生優花と正史先生の会話である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

優花：最近、テレビで昭和に関する内容が多い気がします。昭和元年（1926年）から数えて100年目の年にあたる2025年が、昭和100年となるからですね。

正史：内閣官房では、「昭和100年」関連施策関係府省連絡会議が開催され、そこで検討された内容を紹介します。「明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した我が国は、⁽¹⁾世界恐慌の発生等により日本経済が大きな打撃を受ける中、外交的、経済的な行き詰まりを⁽²⁾力の行使によって解決しようと試み、進むべき針路を誤って戦争への道を進み、⁽³⁾先の大戦で多くの人が犠牲になった。この経験から、『二度と戦争の惨禍を繰り返してはならない。』という誓いの下、⁽⁴⁾外交、⁽⁵⁾通商貿易、文化交流など、多くの分野で平和を希求する道を歩み、揺れ動く世界情勢の中であって、国際社会の安定と繁栄に貢献してきた。今後とも、この平和を希求する歩みを続けるとともに、歴史の教訓を次世代に継承していくことが必要である。」とあります。

優花：⁽⁶⁾ノーベル賞も何人かが受賞し、科学技術の発展に貢献していますね。

正史：また、「戦後の我が国は目覚ましい復興と⁽⁷⁾経済成長を遂げ、世界有数の⁽⁸⁾経済大国へと発展し、『豊かさ』を実現した。⁽⁹⁾科学技術の進歩、新しい商品等の創出、⁽¹⁰⁾インフラの整備や各種施策の推進等を通じて国民の生活水準は著しく向上し、⁽¹¹⁾文化・芸術やスポーツなど幅広い分野で多くの人が活躍し、世界的な舞台での活躍も数多く見られた。これらは昭和をたくましく生きた先人たちの叡智と努力の結晶であり、令和を生きる我々は、昭和の先人たちが築いた『豊かさ』の土台に立ち、その叡智と努力に学びながら、歴史の流れの先にある、我が国の新たな姿・価値観を模索していくことが必要である。」と説いています。

優花：戦後の高度経済成長時期には、⁽¹²⁾公害が起り、輝かしい歴史ばかりではなかったですね。最近では、⁽¹³⁾地球温暖化や生態系の破壊など、環境破壊も深刻な問題ですね。

問1 下線部(1)について、当時の状況に相応しくないものを選び、記号で答えなさい。また、当時の首相を答えなさい。

- a 金輸出解禁による不況とあわせて二重の打撃を受け、深刻な状況におちいった。
- b 輸出が大きく減少し、正貨は大量に海外へ流出した。
- c 銀行は手持ちの手形が決済不能となり、日本銀行の特別融資で一時をしのいだ。
- d 米をはじめ各種農産物の価格が暴落した。さらに豊作のため米価がおし下げられた。

問2 下線部(2)について、下記の語群を、年代順に並びかえなさい。

- a 柳条湖事件 b 満州国建国宣言 c 二・二六事件
- d 盧溝橋事件

問3 下線部(3)について、昭和20年3月10日の東京大空襲および8月6日の広島での原子爆弾投下により焼死等で犠牲になった国民が約何万人か、それぞれ答えなさい。

問4 下線部(4)について、1972年に発表された日中共同声明の内容に相応しくないものを選び、記号で答えなさい。

- a 日本は、中国に対して加害責任を認め、反省する態度を表明した。
- b 日本は、中国と台湾の架け橋になるよう、努める態度を表明した。
- c 中国は、日本に対する戦争や賠償の請求を放棄することを宣言した。

問5 下線部(5)について、1980年代に、日本からの自動車の対米輸出が急増し、アメリカの自動車産業は大きな打撃を受け、日本車をたたき壊して抗議する事件が起こった。それを何と呼ぶか答えなさい。

問6 下線部(6)について、ノーベル賞を受賞した科学者の功績を、下記の語群から選びなさい。

- ① 湯川秀樹 ② 朝永振一郎 ③ 天野浩 ④ 山中伸弥
⑤ 北川進

- a 中間子理論 b 超多時間理論 c iPS細胞
d 青色発光ダイオード e 多孔性材料「金属有機構造体」

問7 下線部(7)について、下記の語群を、年代順に並びかえなさい。

- a 列島改造ブーム b いざなぎ景気 c 岩戸景気
d 神武景気

問8 下線部(8)について、日本人1人当たりの国民所得がアメリカを抜いた年代を西暦で答えなさい。

問9 下線部(9)について、「人類の進歩と調和」をテーマに開催された万国博覧会の開催年と、開催都市を答えなさい。

問10 下線部(10)について、下記の語群を、年代順に並びかえなさい。

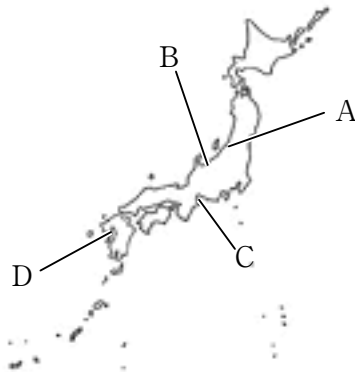
- a 東海道新幹線の開通 b 東名高速道路の全通
c 青函トンネルの開通 d 瀬戸内しまなみ海道の開通

問 11 下線部(11)について、A～Dの説明に合う人物を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- A 『坂の上の雲』『竜馬がゆく』など多くの歴史小説を手がけた。
- B 世界にも類のない本格的なストーリー漫画を創作した。
- C 『点と線』などで、社会派推理小説の分野を確立させた。
- D 『人生の親戚』などで、ノーベル文学賞を受賞した。

a 司馬遼太郎 b 松本清張 c 大江健三郎 d 手塚治虫

問 12 下線部(12)について、四大公害を図に示された記号順に答えなさい。



問 13 下線部(13)について、1997年に、気候変動枠組条約締約国会議で採択された議定書を答えなさい。また、その内容を簡単に説明しなさい。

〔2〕次の史料を読み、下記の問いに答えなさい（史料は省略したり、書き改めたりしたところがある）。

〈A〉

一、(①) え日本の船遣すの儀、堅く停止の事。

一、日本人 (①) え遣し申す間敷候。若忍び候て乗渡る者之有るに於ては、其者は (②)、其の舟并船主共ニとめ置、言上仕るべき事。

一、(①) え渡り住宅仕り之有る日本人来り候はば、(②) 申し付くべき事。

一、(①) 船につみ来り候白糸、値段を立て候而残らず⁽¹⁾五ヶ所其の外の書付の所へ割符仕るべき事。

〈B〉

一、日本国御制禁成され候 (③) 宗門の儀、其趣を存知ながら、彼の法を弘むるの者、今に密々差渡るの事。

一、⁽²⁾宗門之族徒党を結び邪義を企つれば、則御誅罰の事。右茲に因り自今以後、⁽³⁾かれうた渡海の儀、之を停止せられ訖。此上若し差渡るニおゐてハ、其船を破却し、并乗来る者速に斬罪に処せらるべきの旨、仰せ出さるる者也。

問1 空欄 (①) ~ (③) に入る適切な語句を、答えなさい。

問2 下線(1)について、特定商人がいた五か所とはどこか、大坂・江戸を除く3か所を東から順にすべて答えなさい。また、この制度が設けられた年と一時廃止された年、の組み合わせで正しいものを、下記から選び、記号で答えなさい。

- a 1604年-1655年 b 1604年-1684年 c 1633年-1655年
d 1633年-1684年

問3 下線部(2)について、この法令が出された前々年から前年にかけて起こった騒動を、答えなさい。

問4 下線部(3)について、適切な意味を、下記から選び、記号で答えなさい。

- a ポルトガル船 b スペイン船 c オランダ船 d 中国船

問5 〈A〉〈B〉の法令を出した将軍を、答えなさい。

〔3〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

10世紀の初めは、(①) 体制の行き詰まりがはっきりしてきた時代であった。政府は、①902年に出した法令で、違法な土地所有を禁じたり、班田を命じたりして、(①) 体制の再建を目指した。しかし、これまで (②) のもとで税の徴収・運搬や文書の作成などの実務を担っていた郡司たちの力が衰え、もはや (③) ・計帳の作成や班田収授も実施できなくなっていたため、(④) ・(⑤) ・(⑥) を取り立てて、諸国や国家の財政を維持することはできなくなっていた。

こうした事態に直面した政府は、9世紀末から10世紀前半にかけて、(②) の交替制度を整備し、(②) に大きな権限と責任を負わせるようにした。この②交替の際に、一国の財産などを前任者から引き継いだ。(⑦) と呼ばれる有力農民に田地の耕地を請け負わせ、税として (④) ・(⑤) ・(⑥) と (⑧) の利稲とあわせた官物と、(⑨) に由来し本来は力役である臨時雑役を課すようになる。課税の対象となる田地の (⑩) には、負 (⑩) と呼ばれる請負人が付けられた。こうして、(③) に記載された成人男性を中心に課税する (①) 体制の原則は崩れ、土地を基礎に負 (⑩) から徴税する体制ができていった。

問1 空欄 (①) ～ (⑩) に入る適切な語句を、答えなさい。

問2 下線部(1)について、法令名を答えなさい。

問3 下線部(2)に関連した下記の問いに、答えなさい。

- a 下線部(2)を、一般に何と呼ばれるようになったのか答えなさい。
- b それ以外の国司は、赴任せずに国司としての収入を受け取ったが、これを何と呼ぶか答えなさい。
- c 私財を出して朝廷儀式の運営や寺社の造営などを請け負い、その代償として国司などの官職に任じてもらうことを、何と呼ぶか答えなさい。
- d 収入の多い官職に再任してもらうことを、何と呼ぶか答えなさい。

以下余白

